

【講師プロフィール】

ゴールボール女子日本代表選手パラリンピック金メダリスト
(リーフラス株式会社所属)

安達 阿記子(あだちあきこ)



【経歴】

- 1983年 福岡県に生まれる
- 1997年 病気の発症により、右目が視覚障害になる
- 2002年 左目も視覚障害になる
- 2006年 福岡視力障害センター入所(ゴールボールと出会う)
- 2007年 第3回IBSA世界選手権大会出場
- 2008年 北京パラリンピック出場
- 2009年 リーフラス株式会社入社
- 2010年 アジアパラ競技大会2位
2012年ロンドンパラリンピック出場権獲得
- 2012年 ロンドンパラリンピック女子団体ゴールボール
金メダル獲得
2012年度九州運動記者クラブ・特別賞受賞
- 2014年 インチョン2014アジアパラ競技大会銅メダル獲得
- 2015年 Malmo Lady Inter Cup 2015 Goalball
tournament銅メダル獲得
IBSA ゴールボールアジア・パシフィック選手権大会
優勝 2016リオデジャネイロパラリンピック競技
大会出場権獲得

選手活動の傍ら、ゴールボールの普及や「心のバリアフリー」推進のため、各地での講演や競技体験会などを実施。自身のこれまでの人生から、「できること」に注目する重要性や夢を持つことの尊さ、あきらめないことの大切さを伝えている。アスリートとしてのストイックな姿勢を持つ反面、穏やかで謙虚な人柄により、学校での特別授業の人気の高い。

また、ゴールボールは視覚障害者向けの団体スポーツであるため、「声や音のみで正確な情報をチームメイトに共有する」ことが非常に重要である。その競技特性から、企業でのコミュニケーション力向上、チームワークビルディングのための研修にも用いられている。最近では、スポーツを通じて楽しみながらスキル向上が図れると注目を集めている。

活動発表

障がいのある方の「働く(一般就労・福祉的就労)」をサポートする。

〈富士市障害者就労機能パワーアップ事業の3本柱〉

就労支援
ネットワークの
強化

支援機関としての
情報共有を図る

企業への
提案

障がい者雇用について
様々な方法を提案

障害者
就労支援施設の
工賃アップ

自主製品の販路拡大及び
企業からの委託事業
の開拓

